

南薩地域感染症危機管理情報ネットワーク
(NISE)

NISE(ナイス)：Nansatsu Infectious Diseases Surveillance of Epidemiology

2026
第36週
令和8年
8/31～9/6

【お問合せ先】 南薩地域振興局保健福祉環境部（加世田保健所）
〒897-0001 鹿児島県南さつま市加世田村原二丁目1-1
TEL：0993-53-2316 / FAX：0993-53-4519 / E-mail：minami-kenkou-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

県内では、インフルエンザの発生が増加傾向です（定点当たり4.35）。管内定点医療機関からのインフルエンザ発生報告は加世田管内で1名のみでしたが、直近の「学校等欠席者・感染症情報システム」では、加世田管内の学校でインフルエンザによる出席停止者が複数名確認されており、今後の動向には十分注意が必要です。外出後の手洗い・うがい、咳エチケット、十分な休養、こまめな換気などを心がけましょう。

1. 定点報告疾患の発生状況

疾患名	警報		注意報 基準値	対象	31週	32週	33週	34週	35週	36週
	開始基準値	終息基準値								
急性呼吸器感染症(ARI)	—	—	—	加世田	43.50	43.00	24.50	39.50	25.50	41.00
				指宿	30.50	33.50	15.00	29.50	28.00	22.50
				県	46.18	47.14	37.67	41.37	41.40	—
インフルエンザ	30.00	10.00	10.00	加世田	—	—	—	—	—	0.50
				指宿	—	—	—	0.50	1.00	—
				県	0.12	0.16	0.54	1.58	2.32	4.35
COVID-19	—	—	—	加世田	1.50	0.50	0.50	0.50	1.50	2.00
				指宿	4.00	2.50	1.00	1.50	2.50	0.50
				県	2.21	2.02	1.19	0.67	0.82	0.61
RSウイルス感染症	—	—	—	加世田	—	1.00	1.00	2.00	—	2.00
				指宿	—	—	—	—	—	1.00
				県	2.19	2.00	1.61	1.10	1.52	2.00
咽頭結膜熱	3.00	1.00	—	加世田	—	—	—	1.00	—	—
				指宿	—	—	—	—	—	—
				県	0.48	0.52	0.65	0.45	0.35	0.97
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	8.00	4.00	—	加世田	1.00	1.00	—	—	—	—
				指宿	3.00	3.00	3.00	2.00	1.00	—
				県	1.84	2.16	1.77	1.29	1.74	2.39
感染性胃腸炎	20.00	12.00	—	加世田	4.00	3.00	3.00	8.00	5.00	12.00
				指宿	6.00	6.00	1.00	6.00	5.00	6.00
				県	2.90	2.84	2.06	2.97	3.23	3.32
水痘	2.00	1.00	1.00	加世田	—	—	—	—	—	—
				指宿	—	—	—	—	—	—
				県	0.23	0.35	0.13	0.26	0.16	0.39
手足口病	5.00	2.00	—	加世田	1.00	—	—	—	—	1.00
				指宿	1.00	1.00	—	1.00	—	—
				県	0.48	0.58	0.23	0.29	0.29	0.61
伝染性紅斑	2.00	1.00	—	加世田	—	—	—	—	—	—
				指宿	—	—	—	—	—	—
				県	0.10	0.13	—	0.13	0.13	0.10
突発性発しん	—	—	—	加世田	—	—	—	—	—	1.00
				指宿	—	—	—	—	1.00	1.00
				県	0.29	0.42	0.23	0.45	0.48	0.42
ヘルパンギーナ	6.00	2.00	—	加世田	—	—	—	—	—	1.00
				指宿	—	—	—	—	—	1.00
				県	0.16	0.13	0.19	0.19	0.32	0.42
流行性耳下腺炎	6.00	2.00	3.00	加世田	—	—	—	—	—	—
				指宿	—	—	—	—	—	—
				県	—	0.06	—	0.03	—	—

※鹿児島県のARI報告数は来週報以降に反映されます。また、データは後日訂正されることがあります。

2. 警報・注意報の状況

(流行発生警報・注意報の基準値を超えた感染症)

警報発令中

加世田：なし
指宿：なし
県：なし

注意報発令中

加世田：なし
指宿：なし
県：なし

3. 全数報告疾患の発生状況

(管内全ての医療機関から届出のあった一～五類感染症)

第36週 (8/31～9/6)

届出なし

4. 南薩地域で注目すべき感染症

※人数は定点医からの報告です。全体の患者数ではありませんので、ご注意ください。



急性呼吸器感染症（ARI）

第36週の報告数は、加世田保健所管内で82人（定点当たり41.00）でした。

指宿保健所管内では、45人（定点当たり22.50）でした。

南薩地域内での年齢別報告数は、1～4歳（66人）、5～9歳（33人）、0歳（8人）の順に多く報告されています。



インフルエンザ

第36週の報告数は、加世田保健所管内で1人（定点当たり0.50）でした。

指宿管内では、0人（定点当たり0.00）でした。

県全体では、248人（定点当たり4.35）で、前週より116人増加しました。年齢別では、5～9歳（60人）、1～4歳（34人）、40～49歳（26人）の順に多く報告されています。

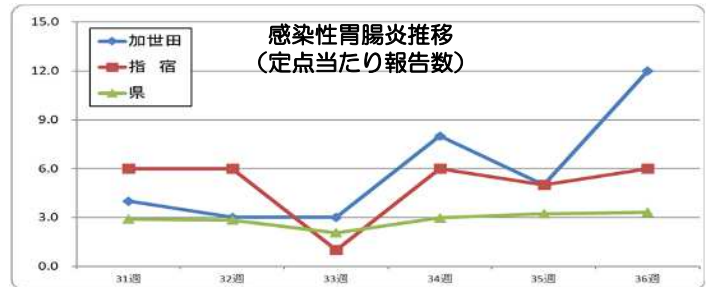
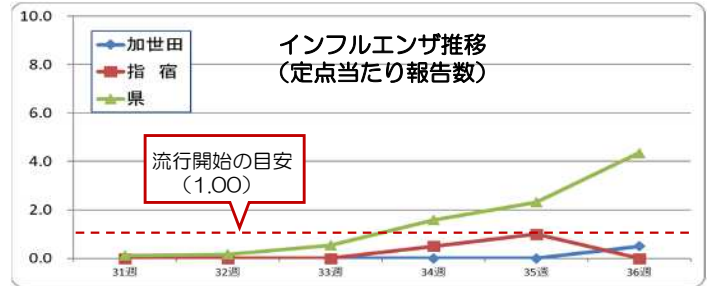
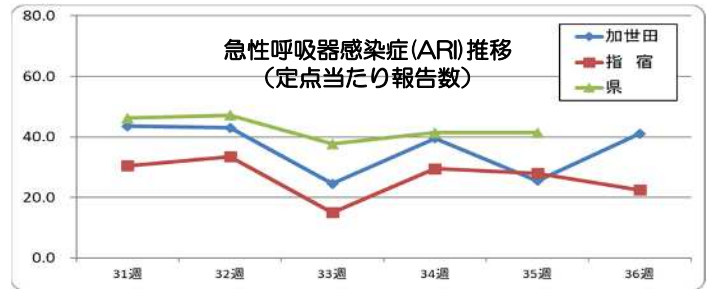


感染性胃腸炎

第36週の報告数は、加世田保健所管内で12人（定点当たり12.00）でした。

指宿管内では、6人（定点当たり6.00）でした。

県全体では、103人（定点当たり3.32）でした。



今週の
話題

9月24日～9月30日は 「結核予防週間」です

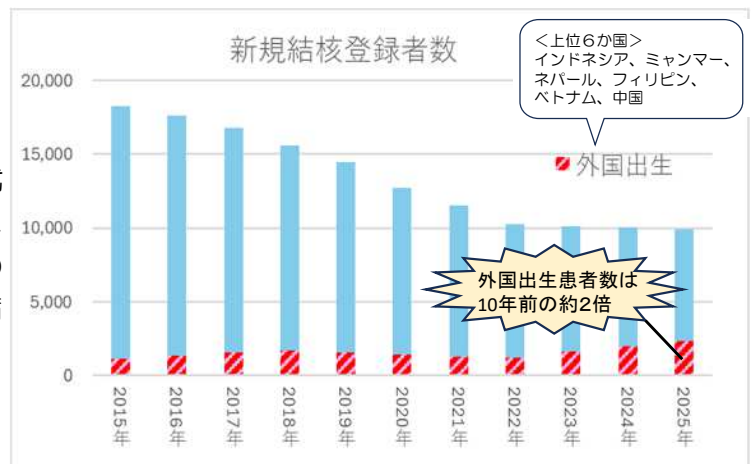
令和の日本にも
結核はあります

■結核とは

結核は、結核菌が感染することによっておこる感染症です。主に肺に感染し、肺結核として発症することが多く、咳、痰、発熱、呼吸困難等、風邪のような症状が出現します。結核を発症した場合、無治療していると50%程度の人が亡くなってしまうと言われています。

■外国生まれの結核患者が増加しています

2025年の全国における新規結核患者数は9,899人でした。そのうち、外国出生患者は2,352人（23.8%）と近年増加傾向で、20代の患者が多いことが特徴です。出生国で結核に感染し、日本での仕事や生活の変化、食生活の乱れ、疲れ、ストレス等で免疫力が落ち、発病してしまうケースが多いと考えられます。



■早期受診、早期診断で正しい治療を



結核が進行すると、咳やくしゃみ等によって、空気中に結核菌を含んだ飛沫が飛び散るようになり、気付かないうちに周囲に拡げてしまうこともあります（空気感染）。

2週間以上続く風邪のような症状（咳、痰、発熱、倦怠感）がある場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

参考：結核 | 厚生労働省
疫学情報センター | 結核研究所